VOICE & LETTER
声・お便り

このごろとても気になること。最近、身内の都合でウォーキングは休んでいますが、時折散歩し、気になることは、空き地というか、遊休農地が目立ち、それが野生化し荒野のようになってきていることです。人口減と高齢化により、仕方ないのかな…と思いながらも何とかできないものか…。そのうち空き家も増えてくるだろうな…と心配です。

また、元鳥茂渡小学校も何にも利用されることなくひっそりたたずんでいることがもったいないし悔しいです。2年後に空き校舎となる堀内小学校の利用についても、今、本気になって村民皆で考えたいものですね。

米田昭子さん（白井・65歳）

遊休農地などの活用はみんなで考えたいですね。他市町村でも空き校舎の活用は難しいようですね。交流型の宿泊所やレストランなどに活用した例がインターネットで紹介されていましたが、大きい市などは何校も空き校舎があり、閉校後5年、6年も活用策がないままという例もありました。本当に難しいですね。

広報係

みんなのイラスト展

女の子はゆずちゃんかな？
大上　柚（ゆず）ちゃん（中央区・3歳）

ガンバッテ描いたね
谷地一星（いっせい）くん（力持・3歳）

目がきれいだね
熊谷久美恵（くみえ）さん（盛岡市・9歳）

なんて名前？
谷地真鈴（まりん）さん（力持・7歳）

黒が目立ってGOOD！
畠山彩愛（あやめ）さん（盛岡市・15歳）

かわいい動物がいっぱい
大村　純玲（すみれ）さん（太田名部・7歳）

3人楽しそう
太田綾音（あやね）さん（緑区・8歳）

花火きれい
大村　蓮（れん）くん（太田名部・4歳）

広報クイズ

次の2つの問題を読み、3つの答えの中から正しいものを選び、はがきで応募してください。①は中央区の金子功さんから、②9ページからの出題です。

①ゴメンナ、サンセー。オワギャン、スタガー。

前文の意味は次のどれでしょうか。

Ⓐ ごめんなさい。許してください。

Ⓑ ごめんください。食事は済みましたか。

Ⓒ 面倒でも、早めにおいでください。

②8月7日、矢巾町と村の小学生が交流した人数は何人でしょうか。

Ⓐ 25人　Ⓑ 32人　Ⓒ 52人

【応募の方法】

はがきに答え、郵便番号、住所（地区名）、氏名、年齢、性別、世帯主の名前、電話番号を書いて応募してください。正解者の中から抽選で5人に図書カードをプレゼントします。はがきに今月号の感想や意見、イラストなど書いてください。紙上で紹介します。

☺**あて先**…〒028－8392　普代村9－13－2　普代村役場広報クイズ係

☺**締め切り**…10月8日（水）当日消印有効

☺**8月号の答え**…あ（風鈴）、い（時計）、く（花火）

☺**応募総数**…8通で8人の方が正解でした。抽選の結果、次の5人に図書カードを送りします。おめでとうございます。

☺**当選者**…①大上　柚（ゆず）ちゃん（中央区・3歳）②谷地一星（いっせい）くん（力持・3歳）③熊谷久美恵（くみえ）さん（盛岡市・9歳）④畠山彩愛（あやめ）さん（盛岡市・15歳）⑤大村純玲（すみれ）さん（太田名部・7歳）

普代ポイントカード会からのお知らせ!!

旧カードの使用期限は8月31日をもちまして終了いたしました。これからは新カードをご利用くださいますようお願いいたします。

おかげさまをもちましてガラガラ抽選会も盛会のうちに終えることができました。今後ともよろしくお願いいたします。

普代ポイントカード会　普代商工会内　☎35－2132

自分で命を絶つ人を一人でもなくしたいという思いから、村保健センターでは、久慈地区の各市町村、久慈保健所と連携して、心の健康づくりを進めています。

警察庁の統計では平成19年の自殺者は過去2番目に多い3万3093人を数えています。さらに岩手県は自殺率（人口10万人当たりの自殺者数）が全国で悪い方から4番目となっていて、その中で久慈地区は最も自殺率が高い地域です。その原因で最も多いのが「うつ病」です。

自分から命を絶つ人の9割以上が直前に心の病気や問題を抱えています。

皆さんは何か悩んだとき相談できる人がいますか？　皆さんの周りには家族、友達、職場の仲間など、皆さんのことを心から心配し、支えてくれる人が必ずいるはずです。

私たちにご相談ください
（村保健センター）

◎9月は自殺予防月間

大切にしてほしい「命」

思い悩んだときは、ぜひ、その人たちに相談してみてください。

また、周りの人は「何かいつもと違うな」「心配事があるのかな」など、周りに悩みを抱えている人がいたら声を掛け、話しを聞いてみてください。

私たちは一人で生きていくことはできません。お互いに支え合いながら生きています。

皆さんの命は、皆さんの宝物です。そしてその大切な命は、未来へつながっていきます。ぜひ、この月間をきっかけに、自分自身の心と体の健康を考えてもらいたいと思います。

うつ病は早めの治療で約8割が治るといわれています。悩んだら話してください。悩んでいる人に気付いたら、声を掛けてあげてください。あなたの一言を待っている人がきっといます。

保健師　千葉　千鶴

■相談先…村保健センター（☎35－2211）、久慈保健所（☎0194－53－4987）

会員に親しまれ300号

普代小ＰＴＡ会報「てぼかい」

普代小PTA会報「てぼかい」（A3、2ページ＝**写真**）が、7月18日の発行号で通算300号を迎えました。会員相互の情報紙、ふれいの場として親しまれ、300号を節目にさらに充実した紙面作りが期待されます。

また、会報「てぼかい」は5月23日に開かれた第30回日本ＰＴＡ広報紙コンクール審査会の第1次審査（県審査）を通過し、全国コンクールに推薦されています。

会報は、同校PTA文化部が手掛け、昭和59年6月に創刊され、題名もふるさとの言葉を残したいとの思いから手先が不器用なことをいう「てぼかい」と名付けられました。平成17年から編集を担当している柳澤牧子文化部長は「先輩方に導かれたこの会報が、みんなの団結でさらに続くことを願っています」とつづっています。

自分自身に挑戦した夏

普代小で水泳記録会

普代小（日沢栄子校長、児童96人）の校内水泳記録会が8月29日、普代村Ｂ＆Ｇ海洋センタープールで行われました。（**写真**）父母らの声援に後押しされ、児童らは自己の記録を更新していました。